

## 「コインの未来(毎月分配型)」の 2013年1月25日決算の分配金のお知らせとQ&A

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「コインの未来(毎月分配型)」(以下、ファンド)の2013年1月25日決算の分配金についてご案内いたします。

### 1万口当たり 20円(課税前)(前月は40円)

※毎月の毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

基準価額水準、分配対象額および市況動向の現状を鑑み、分配金を見直し、1万口当たり20円(課税前)としました。

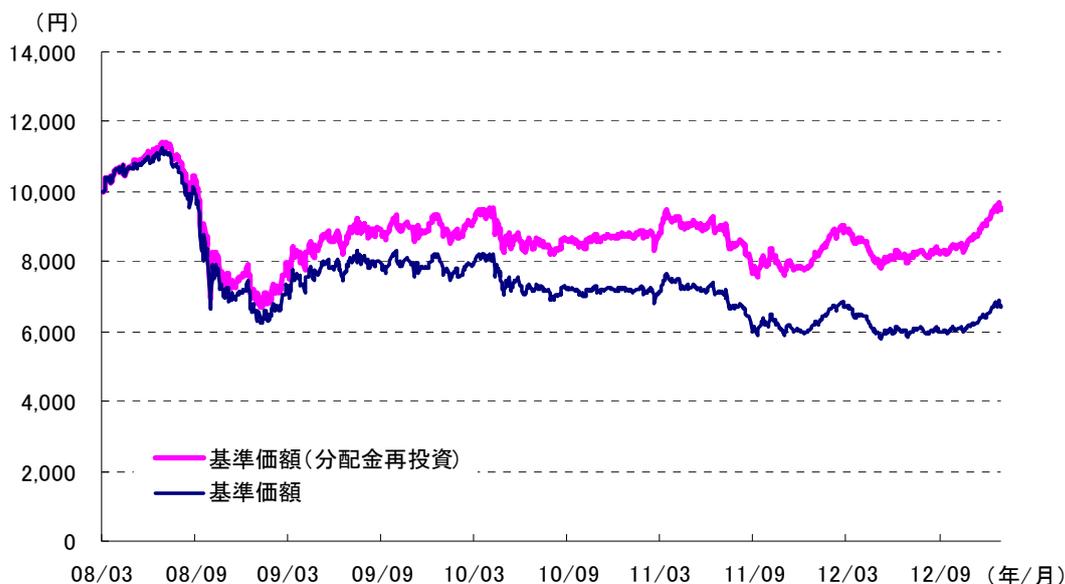
基準価額の推移は以下のグラフの通りです。また、投資環境、今後の運用方針、分配金と基準価額との関係等については次ページ以降でご説明させていただきます。

### 設定来の基準価額の推移

ファンドの2013年1月25日の基準価額は6,764円となりました。また、基準価額(分配金再投資)の設定来の騰落率は-4.5%となりました。

### 設定来の基準価額の推移

期間:2008年3月28日(設定日)~2013年1月25日、日次



※基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額です。したがって、実際のファンドは課税条件等によって受益者ごとに価額は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。上記のグラフは過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、「コインの未来」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

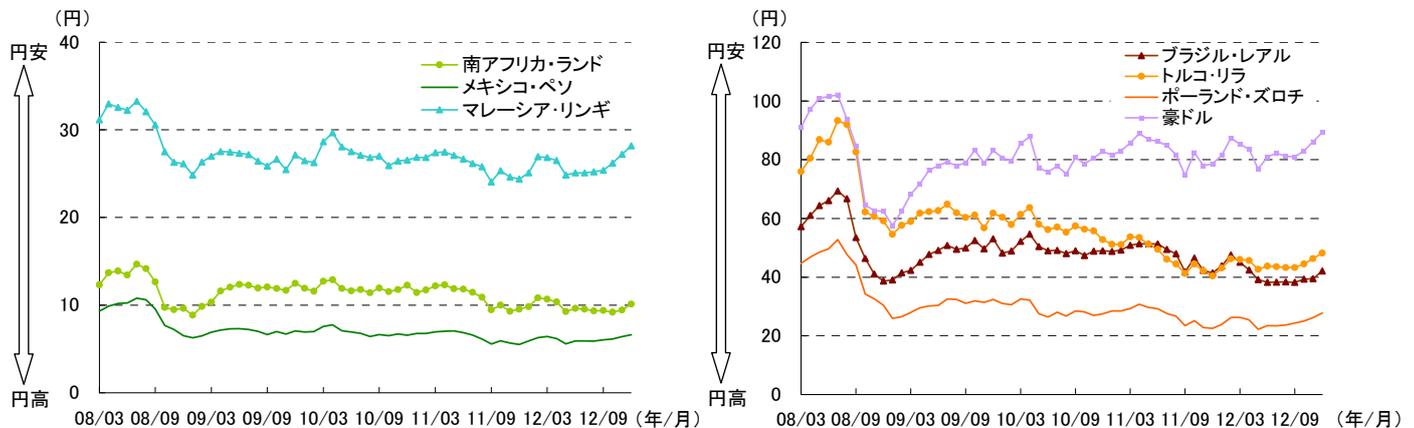
Q1 為替市場(対円)の投資環境を教えてください。

2008年の金融危機以降、各国で利下げが続いたため、日本との金利差縮小期待が高まりキャリートレード(低金利国の通貨である円を借りて円を売り、より高金利の国の通貨を買う取引)の解消が主因と見られる円買いの動きが広がりました。これらを背景にファンドが現在実質的に投資している投資対象国の通貨も円に対して大きく下落しました。また、世界経済の先行きに対する不透明感の高まりや、欧州の債務問題の深刻化を受けて、為替市場においてリスク回避的な動きが強まり、高金利通貨や新興国通貨が売られ、相対的に安全資産とされる円や米ドルが買われる展開となりました。

その後、2012年後半以降は、欧州債務問題への懸念が緩和されたことや、本邦でデフレ脱却に積極的な自民党を中心とする新政権が誕生し、より一層の金融緩和期待が高まったことから、円は他通貨に対して下落基調で推移しました。

投資対象国通貨(対円レート)の推移

期間:2008年3月末~2012年12月末、月次



(注) 投資対象国通貨は2012年12月31日現在の投資対象であり、今後変更になる場合があります。  
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
上記のグラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

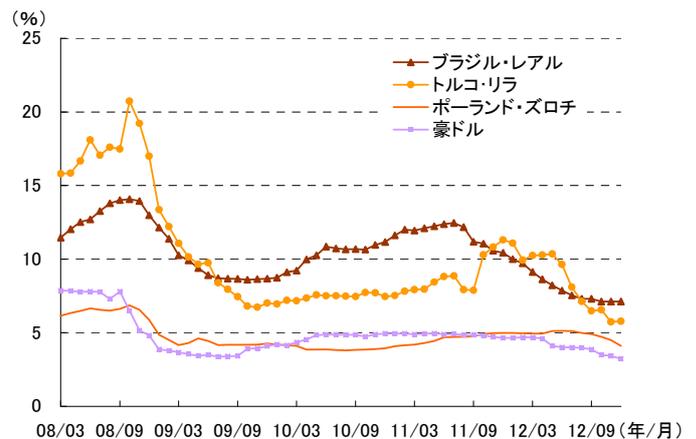
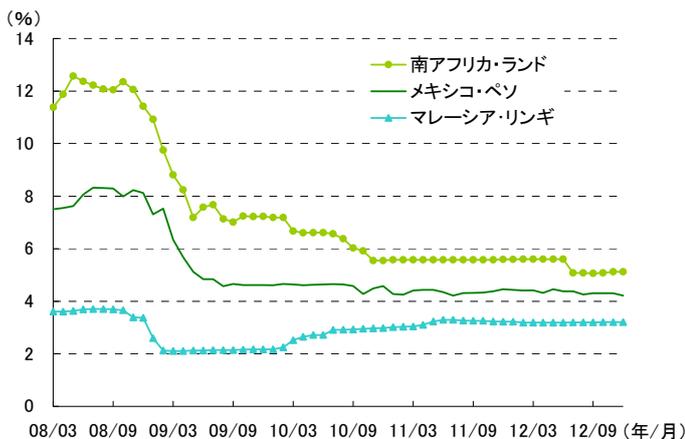
当資料は、「コインの未来」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

Q2 投資対象国通貨の短期金利の状況を教えてください。

2008年の米国大手証券リーマン・ブラザーズの破綻以降、世界的な金融危機の拡がりや景気後退懸念の拡大を受けて、米国や欧州を始めとした各国中央銀行が相次いで利下げを実施したことから、主要先進国の短期金利の水準は大幅に低下しました。新興国においても、世界経済の鈍化を受けた輸出減少、原油をはじめとする資源価格の下落などにより、インフレに対する警戒感が後退したことから、世界的に利下げの動きが続き、短期金利は低下しました。その後、一部の先進国や新興国では、景気回復やインフレ期待の高まりが見られたため、利上げに動く中央銀行もありましたが、足元ではギリシャを発端とする欧州の債務懸念や、世界的な景気減速懸念の広がりを受けて、主な中央銀行は再び金融緩和を実施しました。こうした投資環境の中、投資対象国通貨の短期金利は概ね低水準で推移しました。

投資対象国通貨の金利推移(3ヵ月金利、課税前)

期間:2008年3月末～2012年12月末、月次



(注) 投資対象国通貨は2012年12月31日現在の投資対象であり、今後変更になる場合があります。  
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
上記のグラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【上記グラフで使用した金利】

豪ドル:3ヵ月LIBOR、メキシコ・ペソ:メキシコT-Bill3ヵ月金利、南アフリカ・ランド:南アフリカ・ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド3ヵ月金利、ポーランド・ズロチ:ポーランド・ワルシャワ・インターバンク・オファード3ヵ月金利、マレーシア・リングギ:マレーシア・インターバンク・オファード3ヵ月金利、ブラジル・リアル:3ヵ月国債利回り、トルコ・リラ:トルコ・インター・バンク・オファード・レート3ヵ月金利

当資料は、「コインの未来」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

### Q3 今後の運用方針はどのように考えていますか？

今後の米国や欧州を含めた世界の景気動向や、今後の欧州債務問題への対応については引き続き注意を要すると考えています。また、世界的に国家の債務状況に注目が集まっており、大掛かりな財政出動による景気浮揚が難しいと考えられることから、各国の金融政策については引き続き注視してまいります。

ファンドでは、以下の運用方針を継続し、安定した収益の確保を目指して運用を行なってまいります。

#### コインの未来（毎月分配型）

ファンドの商品性に従い、主要投資対象である外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーペリア・セブンクラスC」への投資比率を引き続き高位に維持していく方針です。

#### ノムラ・カレンシー・ファンド・スーペリア・セブンクラスC

引き続き、新興国を含む世界の国（日本を除く）の中で相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券等の円ベースでのリターンの追求を図り、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。

また、原則として、7カ国の高金利通貨への均等投資を継続し、ファンドのデュレーションを180日以内に維持することで、金利リスクを抑えます。また、ソブリン債もしくは高格付けの社債等への投資に限定することで、信用リスクを抑えます。なお、外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジは行ないません。

Q4 分配金と基準価額との関係について教えてください。

投資信託の分配金は、ファンドの収益の一部を支払うものです。分配金は元本と分けて管理されるわけではなく、決算を迎えるまでファンドの資産として一緒に運用されています。分配金が支払われると、その分資産が減り、基準価額は下がります。

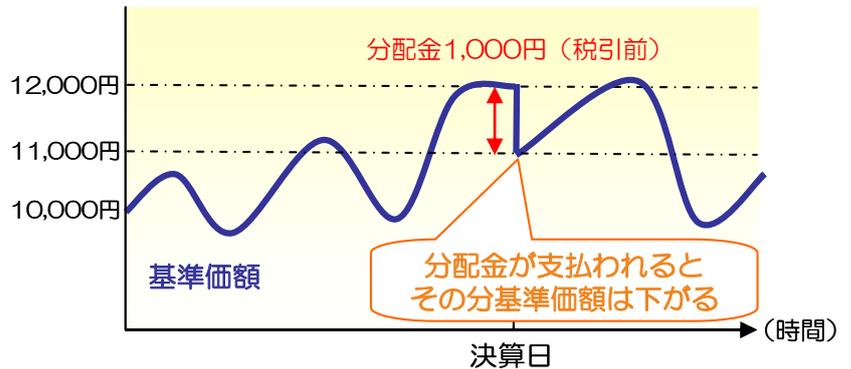
銀行などの預貯金の場合、預けた元金とは別に利子や利息を受け取るようになりますが、分配金はあくまでファンドの資産の一部であるということにご注意ください。

<分配金支払い後の資産のイメージ>



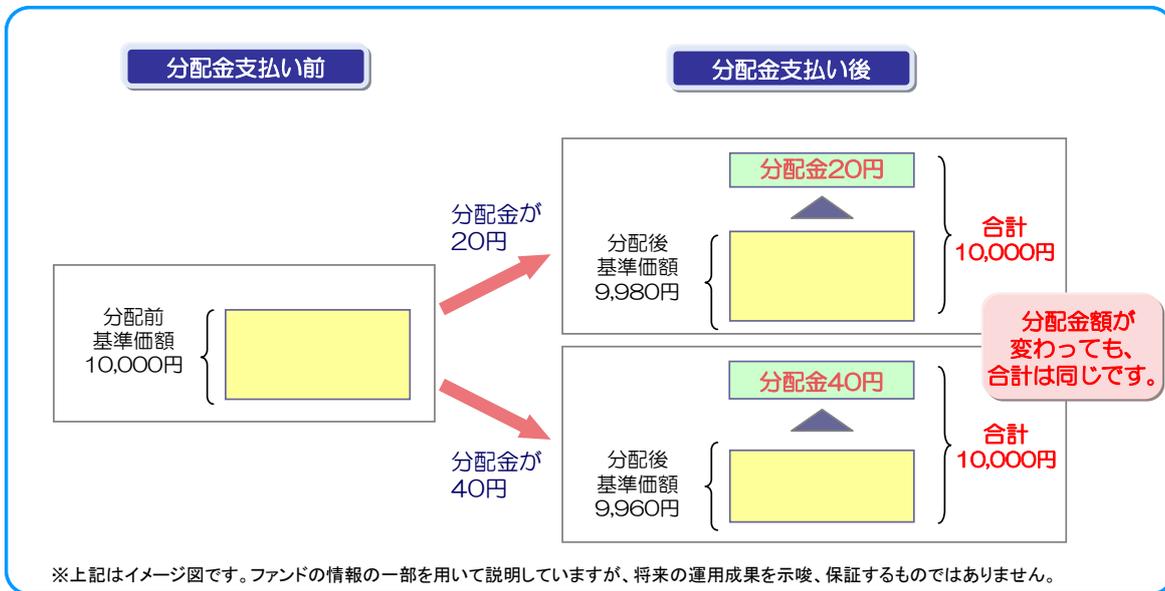
※上記はイメージ図です。

<分配金支払い前後の基準価額推移のイメージ>



※上記はイメージ図です。

<分配金支払い前後の基準価額と分配金のイメージ>



※上記はイメージ図です。ファンドの情報の一部を用いて説明していますが、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

上記の分配金の説明は、分配金と基準価額との関係を説明したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、「コインの未来」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

Q5 分配金は多かったら得で、少なかったら損なのですか？

分配金はファンドの資産から支払われるため、分配金が多かったら得で、少なかったら損とは一概にはいえません。分配金と基準価額の値上がり益／値下がり損を合わせて考えることが大切です。下図は、分配金支払い前の基準価額を 11,000 円と仮定し、分配金なしの場合と分配金あり(分配金 1,000 円)の場合で、どちらが優位になるかを、決算日以降に基準価額が上昇した場合、下落した場合で比較しています。

【基準価額が 20% 上昇した場合】(図 1)

分配金なしの場合の基準価額は 13,200 円(=11,000×1.2)、分配金ありの場合の基準価額は分配金(1,000 円)との合計で 13,000 円(=10,000×1.2+1,000)となります。基準価額が上昇した場合は、結果として、分配金なしの方が良い投資成果が期待できます。

【基準価額が 20% 下落した場合】(図 2)

分配金なしの場合の基準価額は 8,800 円(=11,000×0.8)、分配金ありの場合の基準価額は分配金(1,000 円)との合計で 9,000 円(=10,000×0.8+1,000)となります。基準価額が下落した場合は、結果として、分配金ありの方が良い投資成果が期待できます。

上記から、分配金が多かったら得か、少なかったら損なのかは、その後の基準価額の動きによるため、一概にはいえないことがわかります。

(図 1) 基準価額が 20% 上昇した場合



(図 2) 基準価額が 20% 下落した場合



左記はイメージです。実際の基準価額や分配金額について示唆、保証するものではありません。説明を簡素化するため、費用・税金等は考慮していません。また、分配金は再投資せず、払い出したものと仮定しています。

上記の分配金の説明は、分配金と基準価額の間を説明したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

当資料は、「コインの未来」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等を実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

【ファンドの特色】

- 安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いません。
- 新興国を含む世界の国(日本を除く)の通貨建ての債券(国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債、社債、資産担保証券等)およびコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーペリア・セブーンクラスC」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
- 通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーペリア・セブーンクラスC」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の状況においては、「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーペリア・セブーンクラスC」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「コインの未来」は、分配頻度の異なる「毎月分配型」と「年2回分配型」から構成されています。  
【毎月分配型】…原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。ただし、毎年2月、5月、8月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
【年2回分配型】…原則、毎年5月および11月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。  
※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

——— 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 ———

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 無期限(平成20年3月28日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回分配型】年2回の決算時(原則、毎年5月および11月の25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」「年2回分配型」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨークの銀行・ロンドンの銀行・ルクセンブルグの銀行個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
- 課税関係

※販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

【当ファンドに係る費用】

(2013年1月現在)

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ◆ご購入時手数料                 | ご購入価額に2.1%(税抜2.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br><スイッチング時><br>販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br>※詳しくは販売会社に確認ください。  |
| ◆運用管理費用(信託報酬)            | ファンドの純資産総額に年0.714%(税抜年0.68%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。<br>○実質的にご負担いただく信託報酬率<br>年0.994%程度(税込)<br>※ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。純資産総額によっては年率換算で記載の信託報酬率を上回る場合があります。 |
| ◆その他の費用・手数料              | 組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。<br>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に利率・上限額等を示すことができません。  |
| ◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む) | ありません。   |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、「コインの未来」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## コインの未来 (毎月分配型) / (年2回分配型)

### お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 |          | 登録番号            | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|              |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |
| 株式会社秋田銀行     | 登録金融機関   | 東北財務局長(登金)第2号   | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社山形銀行     | 登録金融機関   | 東北財務局長(登金)第12号  | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社岩手銀行     | 登録金融機関   | 東北財務局長(登金)第3号   | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社十六銀行     | 登録金融機関   | 東海財務局長(登金)第7号   | ○       |                         | ○                       |                            |
| 株式会社池田泉州銀行   | 登録金融機関   | 近畿財務局長(登金)第6号   | ○       |                         | ○                       |                            |
| 株式会社阿波銀行     | 登録金融機関   | 四国財務局長(登金)第1号   | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社SBI証券    | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号  | ○       |                         | ○                       |                            |
| 楽天証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○       |                         | ○                       |                            |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。